**令和５年度　多摩市立多摩永山中学校　　授業改善推進プラン　　教科名**

技術・家庭

|  |  |
| --- | --- |
| **技術・家庭科における指導の重点（身に付けさせたい力）　※学習指導要領に照らし合わせて** | |
| ア　知識及び技能 | イ　思考力、判断力、表現力等 |
| 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。 | 生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生徒の学力の状況（課題） | 授業における具体的な手だて | 手だての実施時期 | 成果検証（２月） |
| 第１学年 | * ものつくりにおいて、手先の器用な生徒とそうでない生徒がいる中での一斉の授業では技能の取得に差がみられる。ア * 活動内容を理解することができる生徒とそうでない生徒によって進度に差ができる。イ | * 作業内容を明確にするため、見本作りの準備、流れをわかりやすくするための工夫に心がける * 師範のビデオの準備などでだれでもわかる授業展開を工夫する。 | ９月から12月 | 1月 |
| 第２学年 | * 1時間と限られて中での調理実習で基礎的な技術を身に着けるのは困難であるし、家庭環境によってできる生徒、できない生徒の差がある。アイ | * 数回の調理実習の課題を発展性のあるものにし、前の調理の技術を生かせるような工夫をする。 | 9月から12月 | １２月 |
| 第３学年 | * 実践的ものつくりでは、計画の段階で必要な知識の定着がされていないため、アイデアに乏しいことがある。イ * 作業に意欲的に取り組む生徒、とそうでない生徒に差が見られる。イ | * 計画を立てる前の事前学習をしっかりと行っていく。 * 作業計画もしっかりたて、期限の中で完成するように導いていく。 | 9月から12月 | 1月 |

|  |  |
| --- | --- |
| **■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について** | **■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学び**  **に向かう力」の育成に向けた取組について** |
| **・タブレット端末で作品の写真を撮り、生徒同士で見合うことで学習の効果を高める。　【重点：個別、協働】** | **・映像を用いて活動内容を視覚的に理解させ、見通しをもたせる。また、発展性のある課題を設定することで、意欲的に取り組ませる工夫を行う。** |